

# 子どもの人権が尊重され 子ども虐待のない地域をめざして

これまで「子ども虐待防止推進事業」では、離島や遠隔地等でCAPワークショップを開催してきました。新型コロナウイルス感染防止のために移動や交流が制限される中、「子どもへの暴力防止」「子どもの権利尊重」について、ますます必要な情報になっている状況から、沖縄県と調整の上、CAPワークショップを10市町村で開催することとなりました。

(開催地：浦添市・那覇市・本部町・名護市・うるま市・北谷町・八重瀬町・石垣市・久米島町・沖縄市)

子どもの大切な「安心・自信・自由」の権利を守り、子どもへの暴力のない社会をつくるために「まずは地域から」と思いをともにする多くの方が参加してくださりました。

子どもの人権が尊重され  
\* 子ども虐待のない地域をめざして  
～CAP(子どもへの暴力防止)ワークショップ～

連日のように報道される様々な子どもへの虐待事件、「しつけ」という名の子どもへの体罰、暴力、虐待が後を絶ちません。DPA家庭で育つ子どもも多く、子どもの成長に大きな影響を与えています。

「どこから虐待?」「近所に気になる子がいるけれど...」「しつけと体罰の違いは?」  
研修の期間に、子どもへの暴力防止活動を20年以上続けるおきなわCAPセンターが、わかちあひをお話しします。大切な子どもたちを守るために私たち何ができるのか、子どもの「安心・自信・自由」の権利を、大切な命を守るために、今更にはじめたいことを考え、行動につなげていくための講座です。ぜひご参加ください。

開催日：11月26日(木)15:00～17:00  
会場：本部町役場1階 会議室  
講師：おきなわCAPセンター  
CAPスペシャリスト

内容：子どもと暴力  
(子どもはなぜ暴力の被害に遭いやすいのか)  
子ども的人権とは  
しつけと体罰の違い  
体罰に代わる10の方法  
子どもからのSOSへの対応 他

CAPとは…  
Child Assault Prevention(子どもの暴力防止)の  
旗次者として、子どもが身から自分を守るための  
取組を行っています。おきなわCAPセンターは1996年  
に発足し、県内各地の小中学校を中心に、地域、保育園、幼稚園、  
中学校、高校、児童発達支援センター、児童養育施設、  
などでワークショップ、講座、研修会を実施しています。

お申し込み先：本部町役場 福祉課  
電話 0980-47-2165  
FAX 0980-47-2185

ご参加のみなさまへ  
研修の代わりにはご準備をお願いいたします。マスクの  
着用、検温、アルコール消毒等、ご協力をお願いします。

対象：本部町在住、在勤で関心のある方  
参加費：無料  
定員：30人  
\*新型コロナウイルス感染症に係る検温実施イベント  
等実施ガイドラインに沿って実施いたします。

主催 沖縄県 共催 本部町・特定非営利活動法人おきなわCAPセンター

## 【内容】

- 子どもと暴力(子どもはなぜ暴力の被害に遭いやすいのか)
- 子ども的人権とは
- しつけと体罰の違い
- 体罰に代わる10の方法
- 子どもからのSOSへの対応
- 相談窓口紹介

## 【参加者の様子】

感染予防のため、参加者同士の話し合いを少なめにしましたが、グループ、またはペアーになると話が止まらないほど盛り上がり、マスク越しに多くの笑顔が見られました。コロナ禍で研修の機会が減っている中、貴重な交流の場となったようです。

CAPメンバーも3人一組で出かけ、地域の方々と直接お話ししたり意見交換ができたり、私たちにとっても学びの多い大切な時間となりました。

また、各市町村担当課の皆様のご協力のもと、念入りに感染対策を行い、安心安全な環境でワークショップを提供することができました。ありがとうございました。



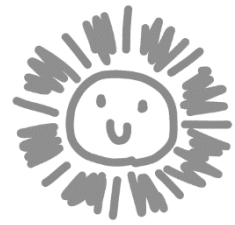
## 各市町村担当者コメント



- ・すぐに支援に活かしたい内容だった。
- ・コロナで研修会が全く実施できなかったのが実施できて本当に良かった。
- ・オンライン開催も検討したが、対面で開催できてよかった。
- ・前から一度CAPさんの研修を実施したいと思っていたので、今回実施できて良かった。
- ・子どもたちにもCAPワークショップを受けさせたい。

# CAPワークショップ

## 参加者の感想



大切な権利や子どもからの SOS への対応で「聴く」ということの大切さを感じました。

子ども達に対して「～してはいけない」ではなく「～してね」というふうに伝えていく。

体罰に代わるしつけの方法を相談者と一緒に考えていくこと、提案していくこともできるかなと思いました。

子どもの話を「聴く」ことを心がけていきたい。

「体罰は時には必要」という意識はまだ残っていたので、これからは「体罰が必要な時はない」と言い切れるようになりたいです。

また CAP さんの研修に参加したいです。  
元気になりました。

予防だけでなく、暴力や性被害が起きた後も対応できる専門職の知識、おとな（親）への理解を広められることが大事だなと感じました。とっても楽しかったです！ありがとうございました。このような活動が**当たり前**に広がっていくことを願いつつ、協力していきたいと思いました。

**怒りの裏にある傷つき体験**を理解すること、DV と虐待の関係性をもっと学びたいと思います。

心に染みる内容ばかりでした。体罰に代わるしつけのアイディアを参考に、**子どもの人権を守っていき**たいと思います。家に帰って夫と学びたいと思います。

子育て、子ども支援でも役に立つ内容で、とてもためになった。もっと子育てに寄り添って、**自分の耳を傾ける**ことができるようにしたい！

**ご参加ありがとうございました**

